

# 高知市健康づくり計画における 歯科口腔保健の取組について

令和5年2月22日

高知市保健所健康増進課

## 第二期高知市健康づくり計画

計画年度：H30～R4→R5(1年延長)

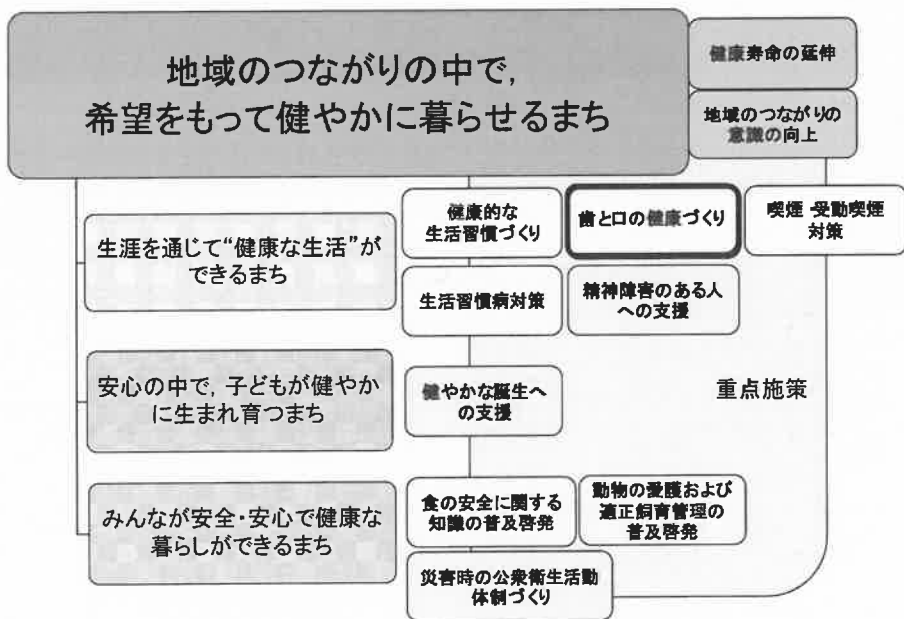
KOCHI CITY

### 第二期 高知市健康づくり 計画



- 保健分野の総合的な計画
- 健康増進分野と健康危機管理・保健所機能の充実強化等を含む

「地域のつながりの中で、希望をもって健やかに暮らせるまち」を目標として



## 第二期高知市健康づくり計画 歯と口の健康づくりの方向性

- ◆ 口腔保健支援センターを歯科口腔保健の拠点とした庁内や関係機関への支援
- ◆ ライフステージに応じた取組
  - ▶ 幼児期・学童期
    - ・ 保育所、学校等でのフッ化物の普及や口腔衛生習慣の確立にむけた継続した支援
    - ・ かむことの大切さを啓発
  - ▶ 成人期
    - ・ 生活習慣病予防と連携した歯周病予防の取組の継続
- ▶ ライフステージに応じた口の機能の育成・維持・向上の支援
- ▶ 多職種が連携した歯科保健の取組
  - ・ 歯周病の全身への影響の市民への啓発など

## 歯と口の健康づくり

### 目標

指標	現状値 (H28年)	目標値 (R3年→R4年)	R4
●学童期のむし歯のあるものの割合 12歳児	44.7%	40%	28.9%
●学童期の歯肉に所見のあるものの割合 中学生	30.5%	26%	27.8%

指標	現状値 (H29年)	目標値 (R4年→R5年)	R5
●歯周病と全身への影響の周知度			健康づくりア ンケートで 把握予定
糖尿病	46.5%	60%	
早産・低出生体重児出産	33.0%	50%	
肺炎	32.1%	50%	
●ゆっくりよくかんで食事する人の割合	35.8%	45%	

5

## 成人期

歯周病と全身への影響についての継続した啓発活動や定期的な歯科受診の働きかけとあわせて、日常生活の中で「かむこと」から口腔機能の大切さを意識づけていく必要がある

### 【H30~R4→R5(1年延長)の方向性】

生活習慣病予防と連携した取組を継続し、地域の中で健康づくりのための歯と口の健康づくりが根づくよう、みんなで実践できる取組を検討していく

### 【具体的方策】

健康的な生活習慣としての歯と口の健康づくりの取組  
いきいき健康チャレンジとの連携  
出前講座(歯周病と全身疾患の関係、かむことの大切さ)  
医歯薬連携推進事業を通じた市民への啓発

7

## 乳幼児期・学童期

乳幼児期・学童期ではむし歯予防や歯肉炎予防に取り組むとともに、かむことの大切さの啓発や口腔機能を育成する視点が必要

### 【H30~R4→R5(1年延長)の方向性】

- ・保育所、学校等と連携したフッ化物洗口の普及や口腔衛生習慣の確立にむけた支援の継続
- ・かむことの大切さの意識づけ

### 【具体的方策】

フッ化物洗口の実施に向けた支援、継続した普及啓発  
子どもの口の発達に応じた食べ方の啓発・支援  
口の体操の普及啓発(あいうべ体操)

6

## 高知市の歯科保健事業



8

## 第三期健康づくり計画にむけて

### 歯科口腔保健の推進に関する 基本的事項 (R6~R17) (骨子案)より

厚生労働省

9

### 歯科口腔保健の推進のための 基本的な方向

健康で質の高い生活のための  
歯科口腔保健の実現

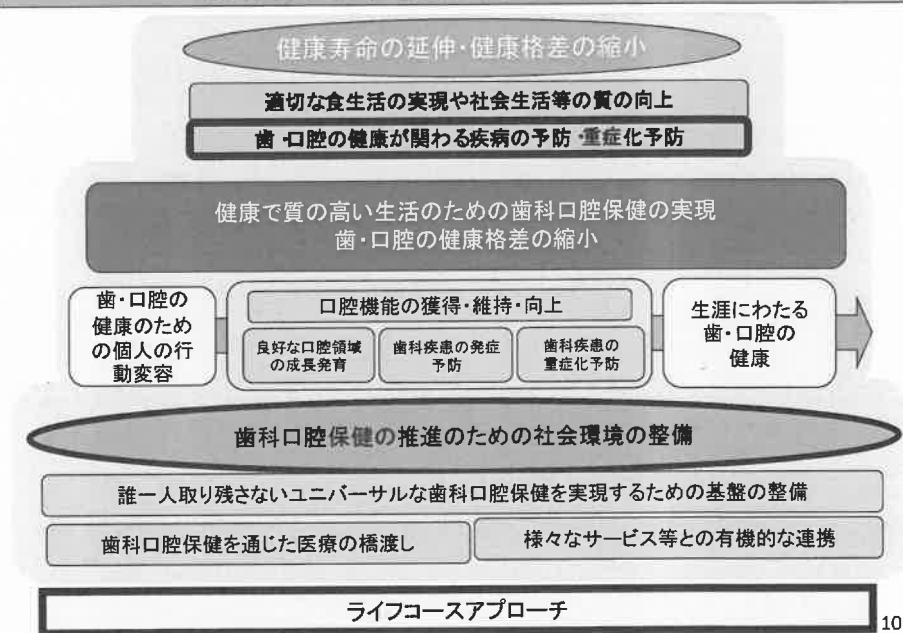
歯・口腔の健康格差の縮小

歯科口腔保健の推進のための  
社会環境の整備

- ・歯科口腔保健に関する体制整備への取組(関連部局との連携)
- ・効果的な歯科口腔保健事業等の実施
- ・学校、保育園、職域等も含めた連携体制の確立
- ・医科歯科連携の推進

11

### 次期基本的事項のグランドデザイン(案)



10

### 歯科口腔保健の推進するための目標

指標(案)

1. 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小
2. 歯科疾患の予防
3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上
4. 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健
5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

12

# 歯科口腔保健の推進するための目標

## 1. 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小

(1) 3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合の増加

国の目標 2032:100%

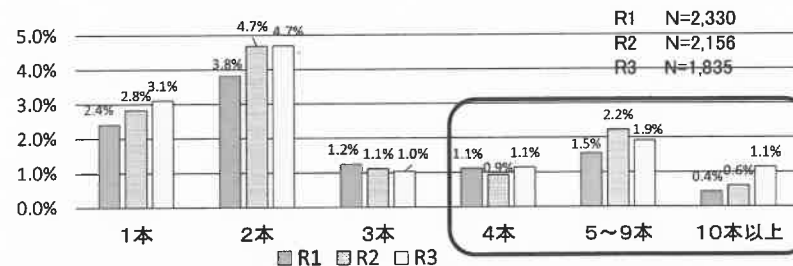
(2) 12歳児のう蝕のない者の割合が90%以上の都道府県の増加

国の目標 2032:25都道府県

(3) 40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合の減少

国の目標 2032:5%

## 3歳児歯科健診結果(高知市) (むし歯本数ごとの割合)

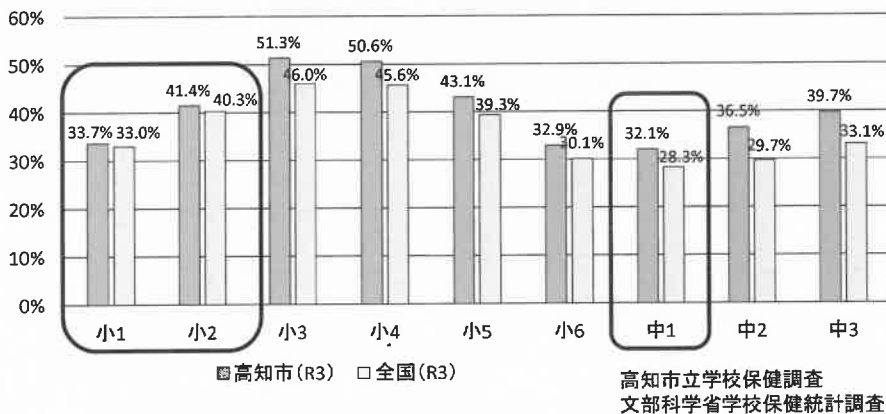


	むし歯のない者	むし歯が4本以上ある者
R1	89.4%	3.1%
R2	87.6%	3.8%
R3	87.0%	4.2%(77人)

むし歯4本以上の割合は、増加している。  
R3は10本以上の割合が多い。

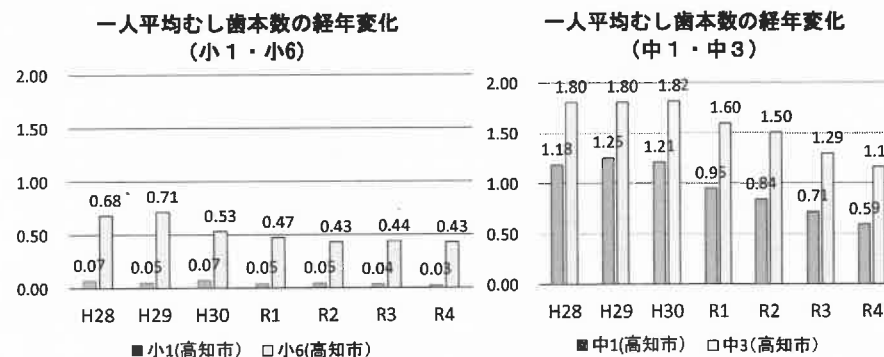
4本以上のむし歯のない者:95.8%

## 令和3年度 学校歯科健康診断結果 高知市立学校のむし歯のある者の割合 (乳歯・永久歯)全国との比較



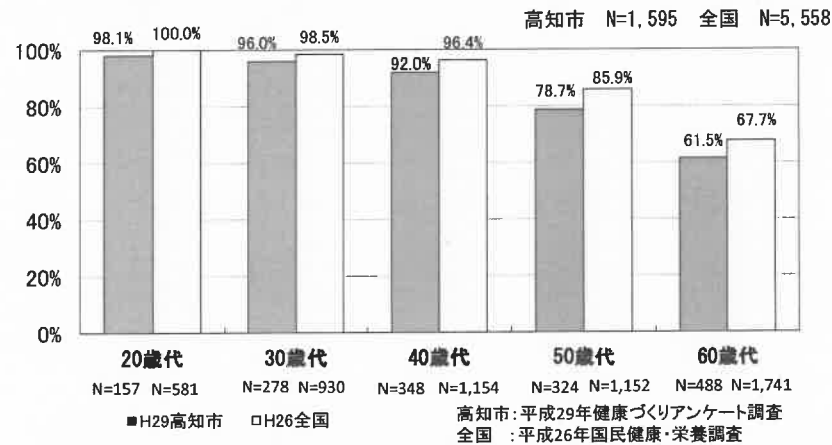
全国と比較すると全学年で高知市はむし歯(乳歯, 永久歯)のあるものの割合が多いが、小学校1, 2年生は全国平均に近づいている。  
中1(12歳児)は、令和3年度は32.1%だった。(令和4年度:28.9%)

## 令和3年度 学校歯科健康診断結果 高知市立学校 永久歯一人平均むし歯本数 H28~R4



小学校の永久歯のむし歯は減少しており、小学1年生の永久歯のむし歯はほぼない。(まだ永久歯が萌出していない児童もいる)  
中学1年生はかなり減少している。中学3年生は年々減少しているがまだまだ多い。(第二大臼歯が中学校入学前後から萌出し始める)

### 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 残存歯数20本以上ある人の割合【年代別・全国との比較】



20本以上ある人の割合を全国と比較するとどの年代も低い。  
40歳代92%、50歳代78.7%、60歳代61.5%だった。

40~60歳代  
19歯以下の割合  
20.9%

## 2. 歯科疾患の予防

### <う蝕予防>

(1) 成人期(20歳以上)の未処置歯を有する者の割合を減らす

国の目標 2032:20%

(2) 成人期(30歳以上)の未処置歯の根面う蝕を有する者の割合を減らす

国の目標 2032:5%

### <歯周病予防>

(1) 中学生、高校生における歯肉炎を減らす

国の目標 2032:10%

(2) 20歳代、30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合を減らす

国の目標 2032:15%

(3) 40歳以上における進行した歯周炎を有する者の割合減らす

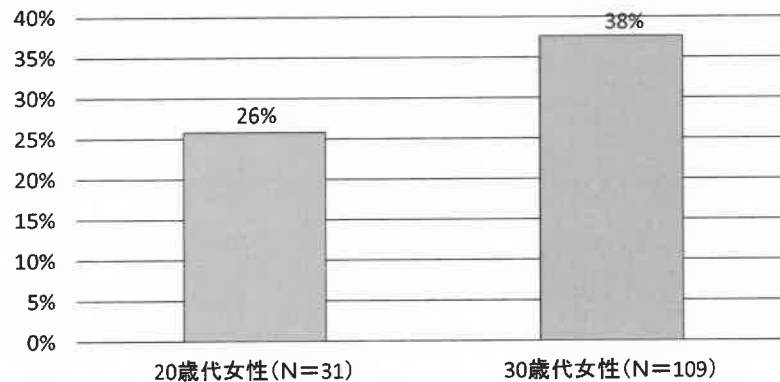
国の目標 2032:10%

### <歯の喪失防止>

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合を増やす

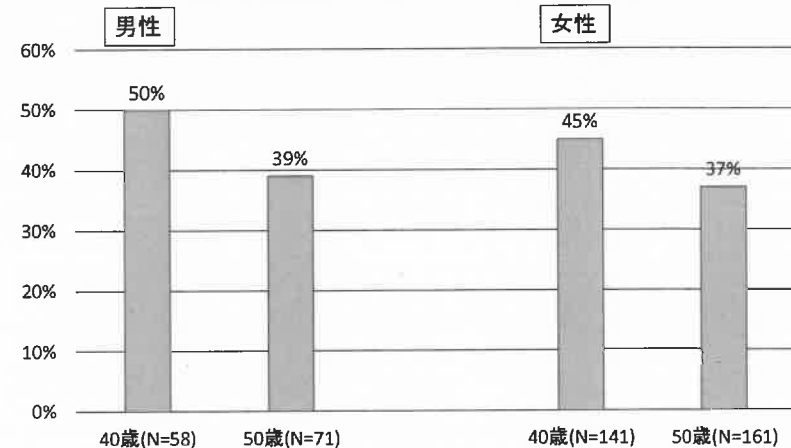
国の目標 2032:85%

### 令和3年度 女性健診 歯科健診結果 未処置歯を有する者の割合



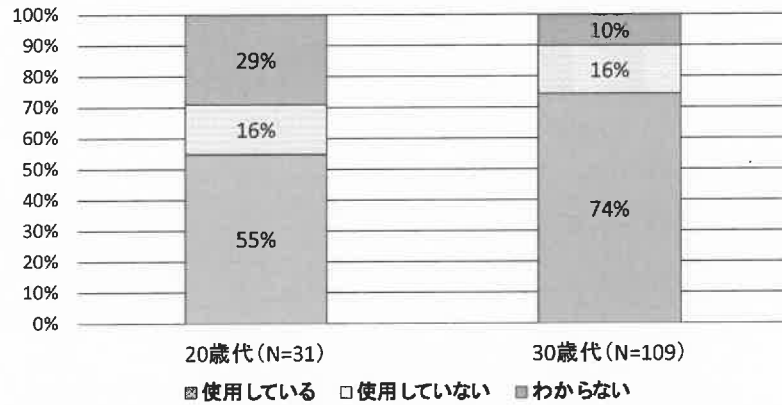
女性健診受診者の未処置歯を有するものの割合は、20歳代で26%、30歳代で38%だった。

### 令和3年度 成人歯周病検診結果 未処置歯を有する者の割合



成人歯周病検診受診者の未処置歯を有するものの割合は、男性は40歳50%、50歳39% 女性は40歳45%、50歳37%だった。

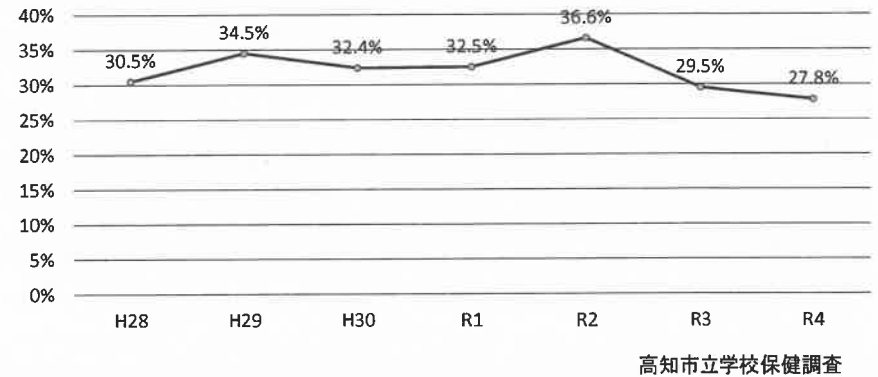
### 令和3年度 女性健診 問診結果 フッ素入り歯磨剤使用状況



20歳代は「わからない」の割合が29%と多く、使用している人は55%だった。30歳代は74%が使用している。

\* フッ素入り歯磨剤市場占有率 R2 : 92% (ライオン歯科衛生研究所HPより) 21

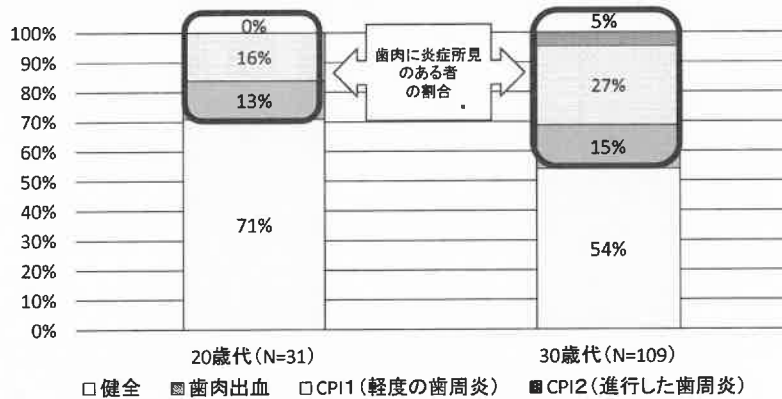
### H28~R4 学校歯科健康診断結果 歯肉に炎症所見の(G,GO)あるものの割合 中学生



中学生の歯肉に炎症所見のあるものの割合は令和2年度は増加していたが、減少してきている。

22

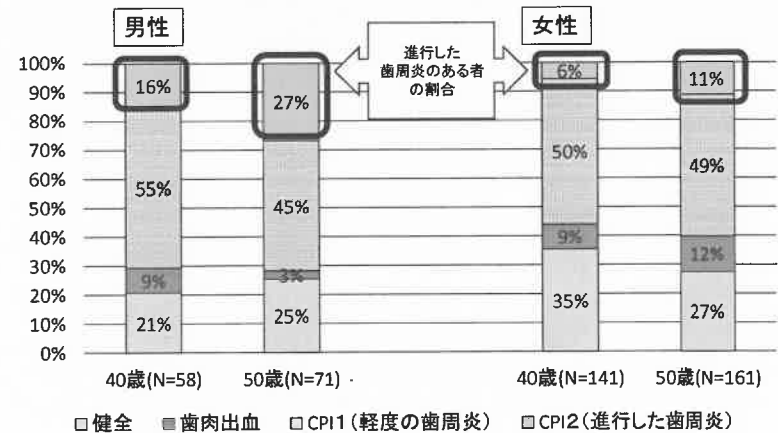
### 令和3年度 女性健診 歯科健診結果 歯肉の状況(20歳~39歳)



20歳代は歯肉出血13%、CPI1 (軽度の歯周炎) 16%、CPI2 (進行した歯周炎) 0%だった。  
30歳代は歯肉出血15%、CPI1 (軽度の歯周炎) 27%、CPI2 (進行した歯周炎) は5%だった。

23

### 令和3年度 成人歯周病検診結果 歯肉の状況(40歳, 50歳)

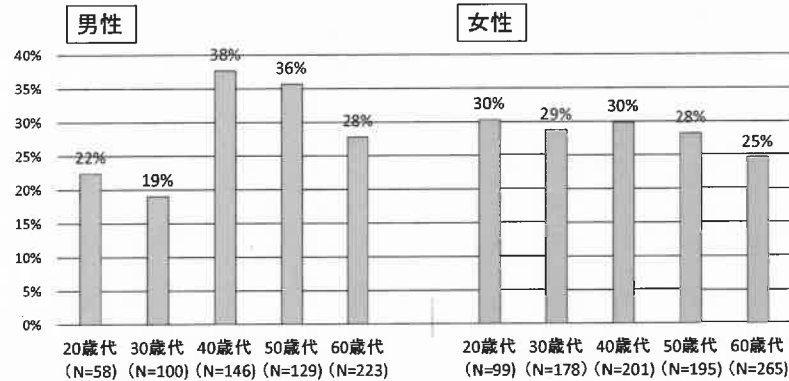


進行した歯周炎 (CPI2) を有する者の割合は、男性は40歳16%、50歳27%、女性は40歳6%、50歳11%だった。

24

### 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 歯肉に炎症所見のある人の割合（20歳代～60歳代）

「歯肉に炎症所見のある人」とは、「歯ぐきが腫れている」「歯を磨いたときに血がでる」の何れかに回答した人



男性は20歳代22%、30歳代19%、40歳代から増加している。  
女性は20歳代30%、30歳代29%で男性より多かった。

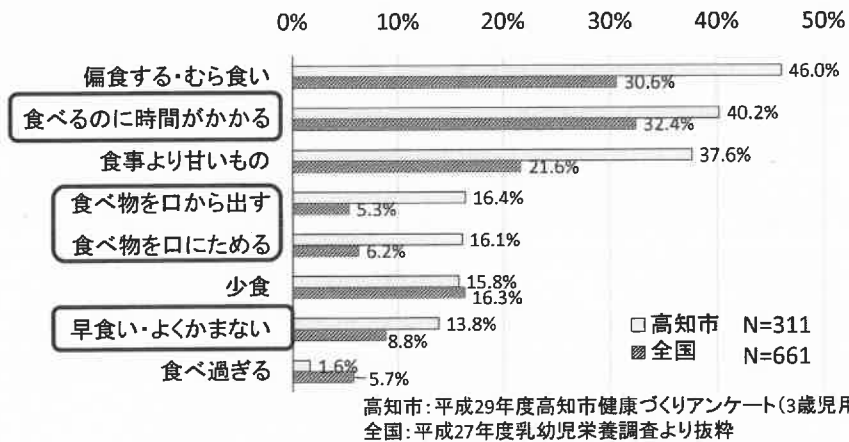
### 3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

(1) 乳幼児期からの口腔機能の獲得, 良好な口腔の成長  
発育

(2) 50歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす

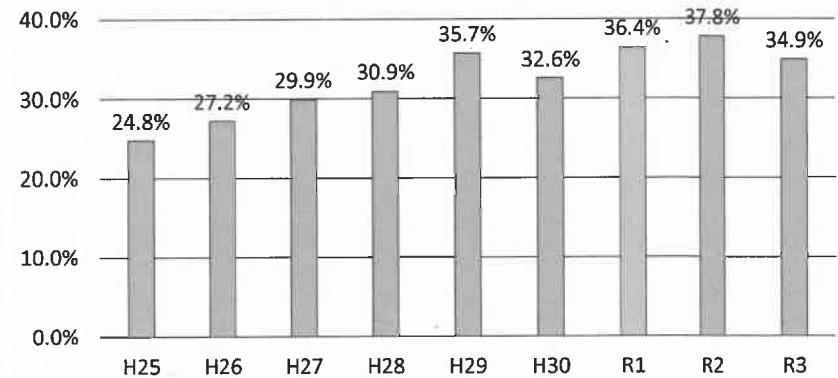
国の目標 2032:80%

### 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 食事や食べ方の困りごと（3歳児）



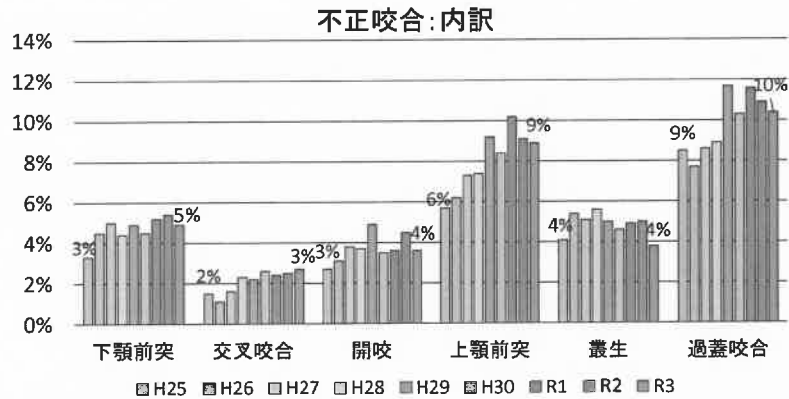
平成29年度の結果では、全国と比較して、3歳児の食事や食べ方の困りごとがある割合が、食事量の項目(少食、食べ過ぎ)以外はすべて多かった。

### H25～R3 3歳児歯科健診結果 (不正咬合所見あり)



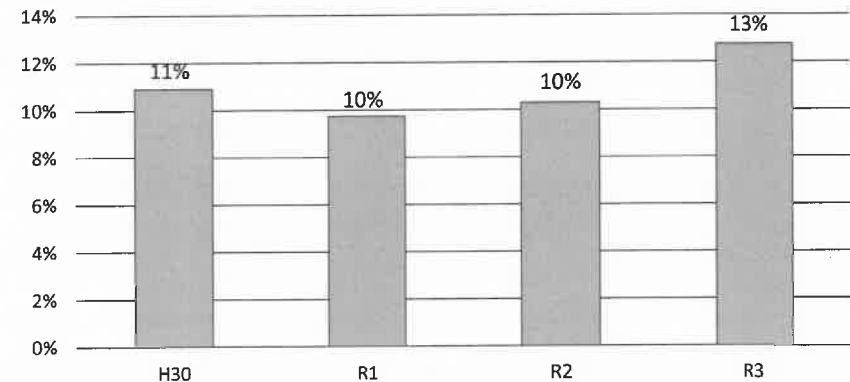
不正咬合所見ありの者の割合は平成28年度からは30%を超えている。平成25年度と比較すると10%増加している。

### H25～R3 3歳児歯科健診結果 (不正咬合)



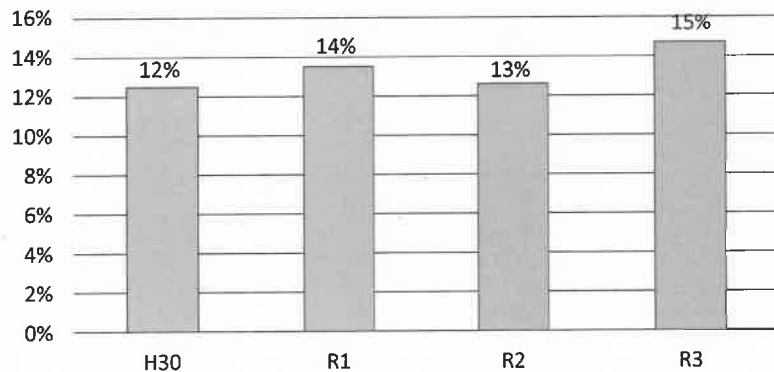
上顎前突が以前より増加してきている。  
過蓋咬合は増減はあるが、令和3年度は一番多い。

### H30～R3 3歳児健診問診結果 奥歯でよくかんでいますか「いいえ」の割合



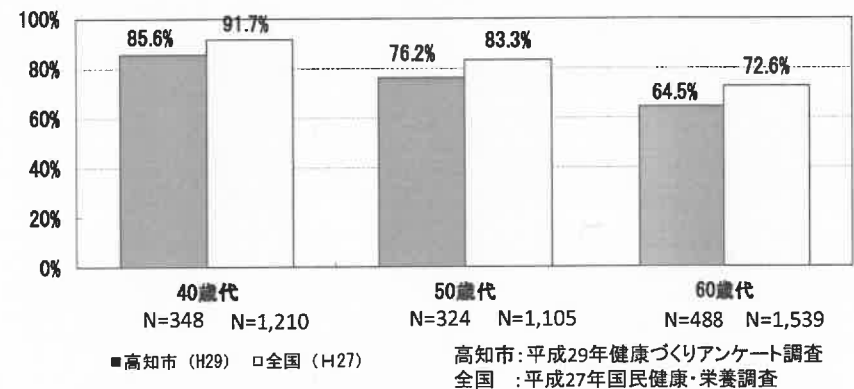
奥歯でよくかんでいますか「いいえ」の割合が、令和3年度は少し増加していた。

### H30～R3 3歳児健診問診結果 ぶくぶくうがいをしていますか「いいえ」の割合



ぶくぶくうがいをしていますか「いいえ」の割合が、令和3年度は少し増加していた。

### 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 何でもかんで食べることができる人の割合 【40歳以上、年齢別、全国との比較】



何でもかんで食べることができる人の割合は年齢が高くなるほど、低くなっていて、どの年代も全国に比べて低い。  
50歳代は76.2%だった。



## 歯科口腔保健の推進するための目標

### 4. 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健

・障害者(児)が利用する施設での1年間に1度以上の歯科検診の実施率の増加

国の目標 2032:90%

・要介護高齢者が利用する施設での1年間に1度以上の歯科検診の実施率の増加

国の目標 2032:50%

33

## 令和2年 高知県歯と口の健康づくり実態調査 (高知県) 障害(児)者・要介護者

障害(児)者

評価指標	R2(県)	目標値R8年度
定期的な歯科健診を全員または一部に実施している障害(児)者入所施設の割合	83.9%	90%以上

要介護高齢者

評価指標	R2(県)	目標値R8年度
定期的な歯科健診を全員または一部に実施している介護老人福祉施設・介護老人保健施設の割合	46.6%	50%以上

34

### 5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

<歯科健診に関する指標>

(1)過去1年間に歯科検(健)診を受診した者の割合の増加

国の目標 2032:95%

(2)歯科健診を独自に実施している都道府県の増加

国の目標 2032:100%

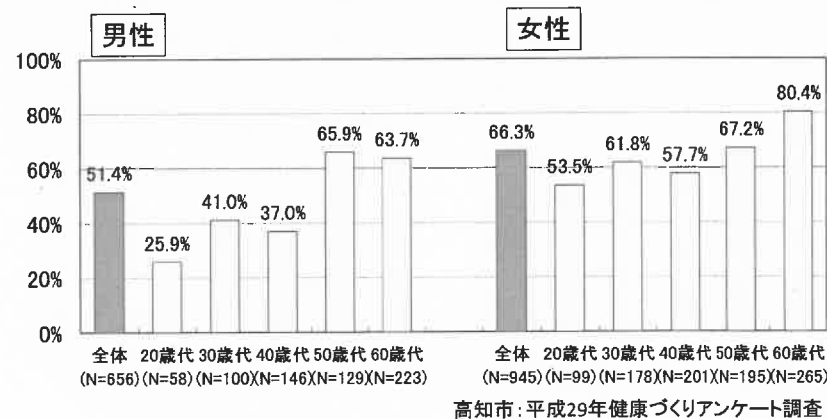
<歯科疾患の予防の取組に関する指標>

15歳未満でフッ化物応用の経験がある者の増加

国の目標 2032:80%

35

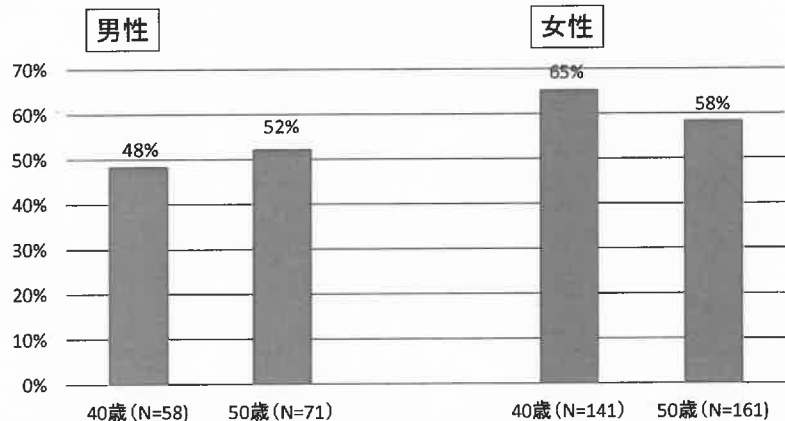
## 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 かかりつけ歯科医のいる割合(20歳~69歳)



男性の若い世代はかかりつけ歯科医のいる割合が低い。

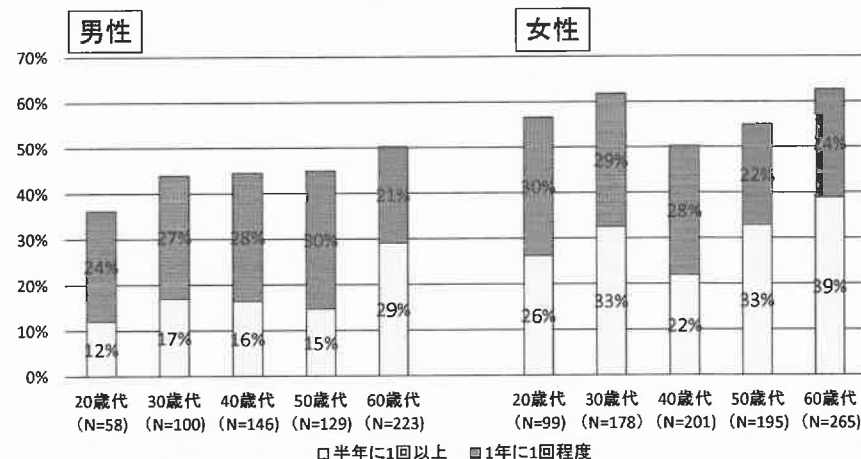
36

### 令和3年度 成人歯周病検診受診者 かかりつけ歯科医のいる割合 (40歳, 50歳)



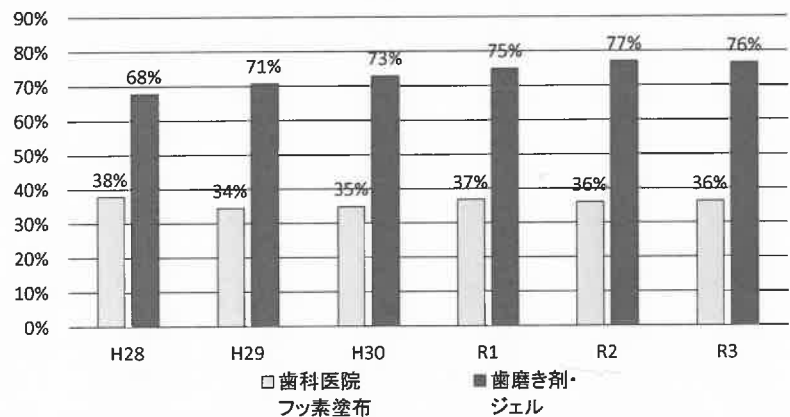
40歳, 50歳とも女性の方がかかりつけ歯科医のいる割合が高い。

### 平成29年度高知市健康づくりアンケート結果 歯の健康づくりのために歯科受診している人 (20歳代~60歳代)



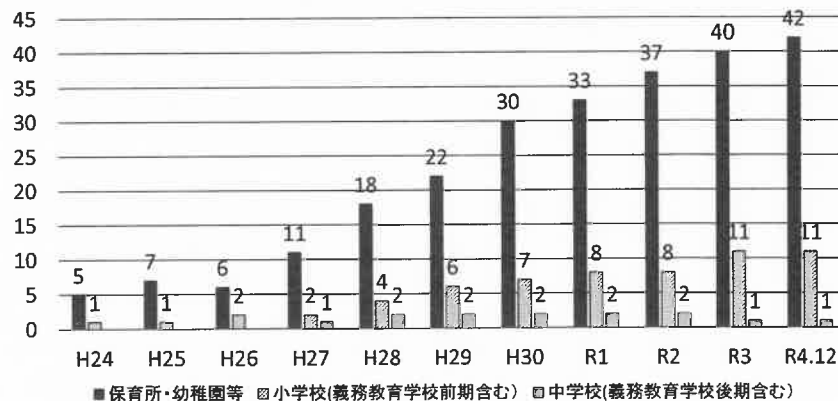
「半年に1回以上」「1年に1回程度」歯科受診している人の割合は各年代とも女性が高い。

### H28~R3 3歳児健診問診結果 (フッ化物使用状況)



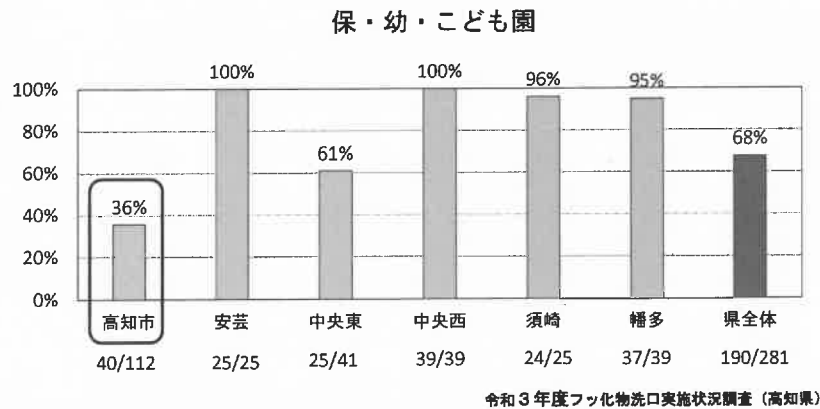
歯科医院でフッ素塗布をしている者の割合はあまり変化がない。歯磨き剤、ジェルを使用している者の割合は少しずつ増加していたが、令和3年度は前年度と変化がなかった。

### フッ化物洗口実施施設数



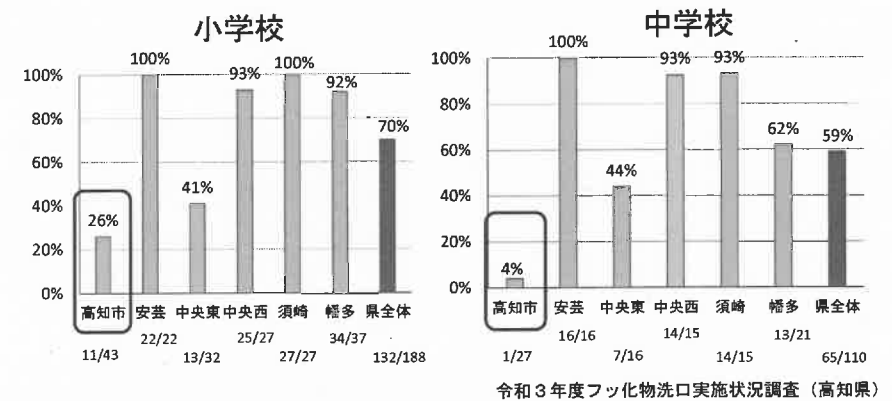
保育所、幼稚園は、年に5か所ずつ増加を目指しているが、コロナの影響もあり、令和4年度は2か所増であった。小学校は、昨年度は3か所増加したが、今年度は0か所であった。

令和3年度フッ化物洗口実施率（令和4年3月末現在）  
【圏域別（私立，国立，県立含む）】



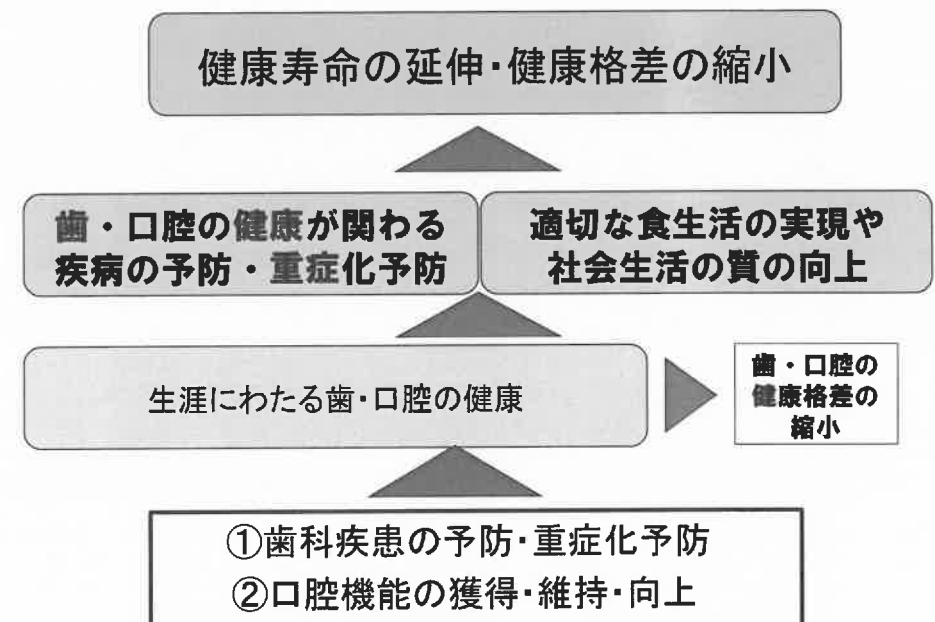
高知市の園はだんだんと増えているが，全体の割合ではまだまだ少ない結果となっている。

令和3年度フッ化物洗口実施率（令和4年3月末現在）  
【圏域別（私立，国立，県立含む）】



小学校，中学校ともに高知市は少ない結果となっている。  
中学校はまだまだ手つかずの状態である。

### 第三期高知市健康づくり計画における 歯科口腔保健の方向性



## ① 歯科疾患の予防・重症化予防

- ・う蝕の予防(フッ化物の活用, 定期的な歯科受診)  
3歳児 ⇒ 12歳児 ⇒ 成人

- ・歯周病予防  
(歯みがき, 口呼吸予防, 定期的な歯科受診)  
小中学生の歯肉炎予防  
成人期からの重度化予防



45

## ② 口腔機能の獲得・維持・向上

<乳幼児期から>

- ・乳児期からの口腔機能の獲得
- ・よくかんで食べる
- ・口呼吸 他, 悪習慣の改善

<成人期>

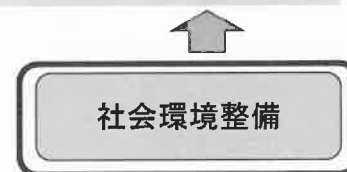
- ・咀嚼良好者の増加
- ・オーラルフレイル予防

46

## 本日ご意見いただきたいこと

自然に健康で暮らせる  
「あたりまえな環境」

市民一人ひとりが歯と口の健康  
の大切さを認識し, 自ら健口づ  
くりに取り組むことができる



## 社会環境整備として必要なこと

(学校, 保育園, 職域等との連携体制の確立, 医歯薬連携の推進など)

- ・現状は? 高知市の家庭状況(園, 学校等の現場より), 高知市民の状況(医療, 社会福祉...)
- ・必要な受け皿は?
- ・連携の実例!? .....など

48

① 歯科疾患の予防・重症化予防  
② 口腔機能の獲得・維持・向上

自然に健康で暮らせる  
「あたりまえな環境」

市民一人ひとりが歯と口の健康  
の大切さを認識し, 自ら健口づ  
くりに取り組むことができる

社会環境整備

個人への歯科口腔保健の  
アプローチ

47